和泉式部の歌群における秋の想像

和泉式部の十首歌群を中心として

ベネゼ リズ

要旨

和泉式部（九七〇頃- ?）の歌集には百首歌群、勅字歌群、和泉式部が恋人の敦道新王を偲んで作成した五十首歌群など、様々な歌群がある。これらの歌群は内容が異なっているが、すべて題詠という共通の詠方である。題詠は和泉式部の和歌の特徴ともいえ、構造的に作成された歌群の中きに自分の感情を豊かに表現する。

本稿では、『和泉式部正集』の秋の題詠である十首歌群について考察する。まず、十首と比較できるように、『古今和歌集』の秋巻と和泉式部の十首の構造を検討し、比較する。そして、十首の歌人の主体の特徴を論じる。最後に、十首の歌に歌人の内界と外界の関係を明らかにしたい。